

国際ロータリー第2710地区

広島中央ロータリークラブ卓話
2021年11月15日

ロータリーの未来形成と
魅力あるクラブ創り



RID2710 2016-17年度ガバナー
田原榮一



21世紀の新しい潮流と改革-2

- * 2016年 例会・出席・会員身分の柔軟性(例外規定)
 - * 例会(頻度・日時・時間・場所は自由:クラブは少なくとも月2回、各月の最終例会後15日以内に月次出席報告をガバナーへ提出
 - * 会員身分をクラブ独自で決定できる。正会員のサブカテゴリーに準会員、家族会員、ジュニア会員、法人会員等。
 - * ローターアクターにロータリアンとなる資格
 - * ローター学友に正会員となる資格
- * 2017年 新ビジョン声明
- * 2018年 RI戦略計画 新優先事項と目標
- * 2019年 RACのRI加盟、柔軟性推進(新しいクラブモデル)
- * 2020年 試験的プログラム(グローバル会員・未来形成委員会SRF)
- * 2021年 ローター-DEIタスクフォースによる声明

ロータリーの新しい「ビジョン声明」

2017年 ロータリーの新しいビジョン声明

「**私たちは**、世界で、地域社会で、そして自分自身の中に、**持続可能な良い変化**を生むために、人々が手を取り合って**行動**する世界を目指しています」

Vision Statement

「Together, **we** see a world where people unite and **take action** to create **lasting change**—across the globe, in our communities, and in ourselves.」

* 和訳(2018)「われわれロータリアンは」は、RAの加盟により「**私たちは**」と変更



新しい戦略計画(行動計画)

* RIとTRF(ロータリー財団)の新しいビジョン達成ための
今後5年間の活動を示す4つの優先事項

優先事項1: **大きなインパクトをもたらす**: **ポリオ撲滅**他の3つの目的

優先事項2: **参加者の基盤を広げる**: **会員基盤の強化と多様性**他4つの目的

優先事項3: **参加者の積極的なかわりを促す**: **クラブが会員の積極的参加の支援**他4つの目的

優先事項4: **適応力を高める**—**研究と改革、ガバナンスの合理化**他3つの目的



ジョウン・ヒューコ事務総長からのメッセージ

ロータリーは今転換点にあり、**岐路**にある

* 過去15年間、全世界の**会員数は120万人に低迷し、深刻な課題を抱えている**。事実、ゾーン再編成で日本は今までの3ゾーンから2.5ゾーンになる

* **柔軟性の導入にも拘らず、会員数は何故減少するのか？**

2017年度6月 **4,969名減少**、2018年度6月 **7,830名減少**、
2019年度6月 **279名減少**、特に、アメリカを始め先進国で減少し続けている

2017-18年度・2018-19年度世界・地域アンケート調査結果参照

* ロータリーの新しいビジョン声明に基づき、21世紀のロータリーの活動を再定義する**新しい戦略計画(4つの優先事項)**が採択。

2019年規定審議会の最大のトピックス

1. 会員や出席がより柔軟に

1) クラブの職業分類の制限が廃止

2) 欠席のメイクアップ期間が年度内に拡大

*しかし、我が国では、従来通り前後2週間とする場合には、
クラブ細則で改めて定める

2. ローターアククラブ(RA)のRI加盟

* RIはRCとRAの連合体

* 人道分担金などの多くの問題は今後の課題

3. ジョン・ヒューコ事務総長が最高経営責任者(COE)に就任

*「国際ロータリーホールディング」(RIH)を設立

2020年国際協議会

* ジョン・ヒューコ事務総長の提言と声明:

RCのイノベーションへ向けて

「既存の概念に囚われず、新しい画期的なクラブを創設し、
末永い変化をもたらす活動目的の実現する必要がある」と提言
そして、革新性をもたらすキーワードとして、

3つのC、クラブ (Club), 活動目的 (Cause), 継続性 (Continuity)

を強調

* クナーCRI会長は、国際協議会の締め括りに

「古き良きロータリーではなくなったと文句を言うロータリアン
仲間がいたとしても、変わらなければならないのです」と言及

ロータリー未来形成委員会

* 2018年 ロータリーの新しいガバナンス(組織統括)を検討する

未来形成(Shaping Rotary's Future:SRF)委員会が発足:

地区から地域へとリーダー選出の立候補制へ

理由:4つの行動計画(戦略計画)の目標達成と

地域に適した会員増強・社会奉仕に充分向き合うため

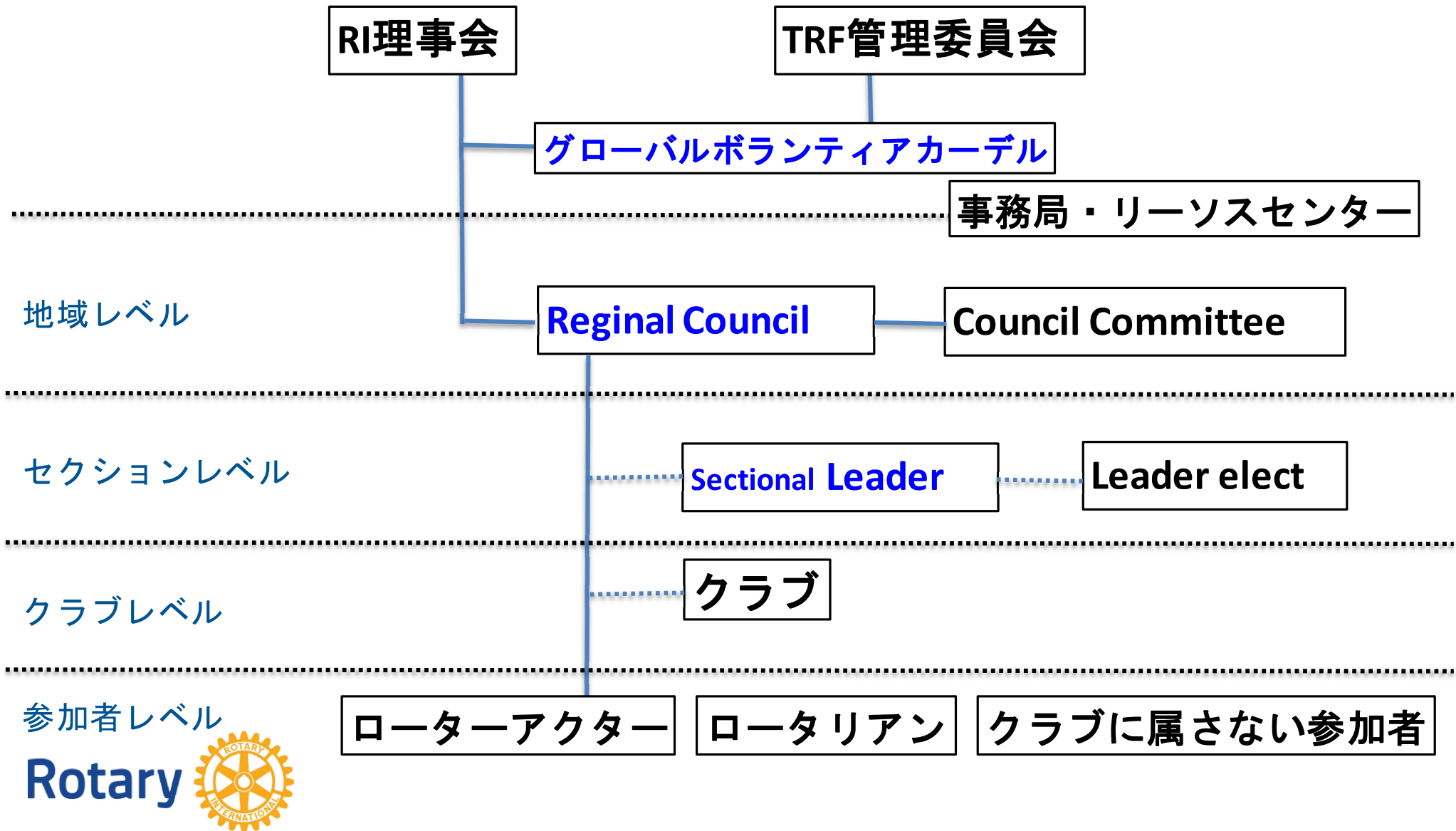
改革案:

- ① **地区やガバナーを廃止**して**地域(Region)**とする。世界で20-40地域。
* 各地域に3年任期の**地域カンセル(Reginal Council)**を置き、地域内のRC,RAから選挙で選出
- ② 地域は1,500-1,600の**セクション(section)**に分け、選挙による2年任期の**セクションナルリーダー(Sectional Leader)**を置く。日本では102の**セクション**予定。
- ③ **グローバルボランティアガーデル**を置く
- ④ **ゾーン**は、理事選出の単位として残る



2023年からパイロット開始、2030年から全世界で実施

ガバナンスモデルの草案（6月9日の座談会）



新ガバナンス体制と現在のガバナー制度

新ガバナンス体制と課題

- * 地域重視の運営体制による組織の活性化
- * 日本は1地域で**1名の地域カンセル**
- * 34地区から**102セクション**へ管理範囲の縮小
- * 前向きな一ダターの誕生に対して、任務が2、3年の長期
- * RAとローターアクトターの自立

現在のガバナー制度の特徴

- * 地区から選出された1年任務のガバナー
- * ガバナーは地区を代表したRIの役員
- * ガバナーはRIの研修を受け、RI会長の声明・方針を地区運営へ。
- * クラブ・地区・RIが1体となって奉仕の理念を実践

今後のロータリーと「不易流行」

- * 115年前、親睦と奉仕を中心として始まったロータリーは、現在衰退の兆しを示し、今後如何に革新し蘇らせるかという苦難の時代の幕開けである。今後のロータリーは、時代と共に変化する組織や方法論の導入と共に、「奉仕の理念」と「職業奉仕」、そして、「ロータリーの基本的精神」(中核的価値観)は常に同居しなければ成り立たないのである。まさに、松尾芭蕉が唄えた「不易流行」である。

ポール・ハリス語録

“我々の思想は硬化してはならない。この世界は常に変化する。我々は、変化する世界と共に変化を用意しなければならない。ロータリーの物語は、幾度も幾度も書き替えられなければならないであろう”



RID2710 改革とビジョン声明

*RID2710地区改革:

2017年度から地区戦略委員会は、ガバナー公式訪問、地区運営、地区委員会の見直し等に取り組み、**グループ別のガバナー公式訪問**が順次スタート。特別委員会「**がん予防推進委員会**」は、**2020年より継続**

* **RID2710のビジョン声明**:「私たちRI第2710地区は、RIの普遍的理念である「**The Ideal of Service**」と二つのモットー「**Service above self**」・「**One profits most who serves best**」を掲げ、RIの目的、使命、ビジョン及び戦略的優先事項に従い、且つ当該年度の地区ガバナーの運営方針を尊重しつつ、地区内クラブのサポートに専心すると共に、**平和推進地区**として、常に地区組織とこれに基づく活動内容を見直し、また、適切且つ有効な地区略計画を立案してこれを実行し、もって健全な地区組織及び財政の運営を目指します。



Rotary

広島中央RCの歴史変遷

* 1978年11月28日、広島東南RCスポンサーとして、23名のチャーターメンバーで誕生(在広RCの7番目):初代会長:高石 稔、副会長:柚木 宏、幹事:柚崎 博

1978——1988——1999——2009——2019—現在

「創始期」「発展期」「苦難と改革期」「進化の期」

(創立10周年)

(創立30周年)

(創立40周年)

明るく和やかなクラブとして、台中西RCとの交流と共に長期プロジェクト

「マイカー乗るまあデー」、「献血運動」、「戦略的会員増強」「がん予防推進」等を展開し、2016年には田原ガバナーを輩出、更にローターアクトクラブをも創立しモデルクラブとして評価されている



創立40周年記念式典



クラブ基盤の充実

* クラブの目的 (標準ロータリークラブ定款・第3条クラブの目的)

- 1) 「ロータリーの目的」の達成
- 2) 五大奉仕部門に基づいた奉仕プロジェクトの実施
- 3) 会員増強を通じてのロータリーの発展への寄与
- 4) ロータリー財団の支援
- 5) クラブレベルを超えたリーダーの育成

* クラブ基盤: 上記目的を遂行には、3つの基盤が必要

- 1) **会員基盤**: 会員増強・親睦・研修
- 2) **クラブ組織と運営基盤**: 組織人事・例会運営・財政収支
- 3) **奉仕活動基盤**: 奉仕の理念・奉仕活動・ブランド

研修: PETS, GETS等の地区研修会、RLI, クラブ研修セミナー

* **ロータリー章典**: ロータリーの方針・規定を定めたバイブル

Rotary



RLI (Rotary Leadership Institute ロータリー・リーダーシップ研究会)

RLIは、ロータリークラブの指導者育成のための草の根
多地区合同プログラムである。

- * RLIは、1992年元RO理事マイク・マクガバンの提唱により設立
現在世界の80%近い地区が参加、日本では2008年6月導入され
29地区(85%)が参加
- * RLIのカリキュラムは、パートI(ロータリアンとしての私)、
パートII(私たちのクラブ)、パートIII(私のロータリーの旅)、
及び卒後コースから構成。
- * RLIの目的は、DL(ディスカッション・リーダー)からのテーマーについて
参加者同士が議論し、ロータリーに関して色々な角度から考える機会を
得る場である



* 2008-12年度 RLI-2710 分科会研修DL・カンセラー

クラブ戦略計画

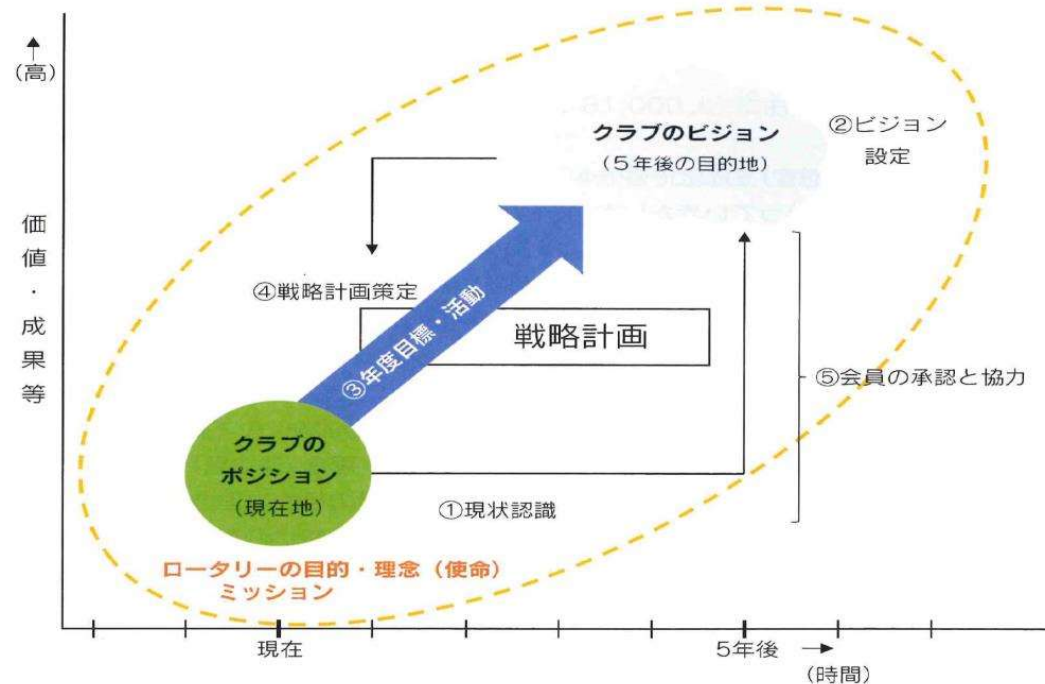
明るくて和やかな魅力あるクラブ創りには、活気溢れた例会と意義あるプロジェクトのための戦略計画が必要

- ① **クラブのポジション**: クラブの健康チェック:
クラブの強み、弱み、問題点等の分析調査と実態把握(会員退会の増加・奉仕活動のマンネリ化
例会運営のマンネリ化・クラブ研修等)
- ② **クラブのあるべき姿のビジョン(5年後の目的)**: **創立50周年に向けて**
- ③ **年度目標・活動設定**
- ④ **戦略計画策定**
- ⑤ **会員の承認と協力**
全員参加のクラブフォーラム
で承認

*** 誇れる伝統・業績と
気品あるクラブ
— 不易流行 —**

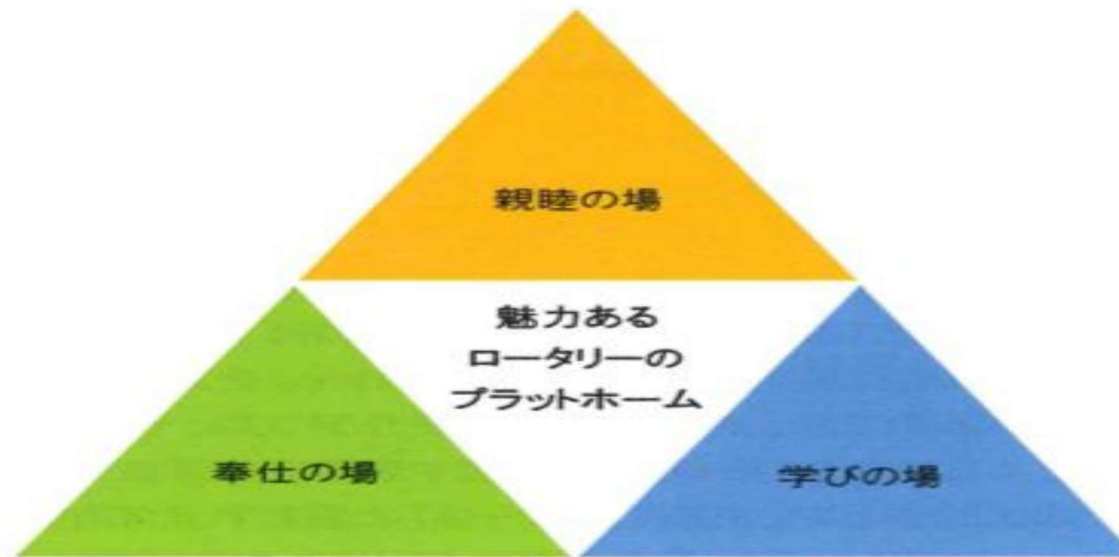
戦略計画の概念図

ロータリーにおけるクラブ戦略計画の位置づけを図示すると次の通りです。



ロータリーの魅力創り

クラブの活性化には、「会員の、会員による、会員のための場」である「**親睦の場**」(多様性と親睦)、「心の通い合う場」である「**奉仕の場**」(奉仕の理念と活動)、「成長のための場」である「**学びの場**」の3要素が融合したプラットフォームを設けることが必要



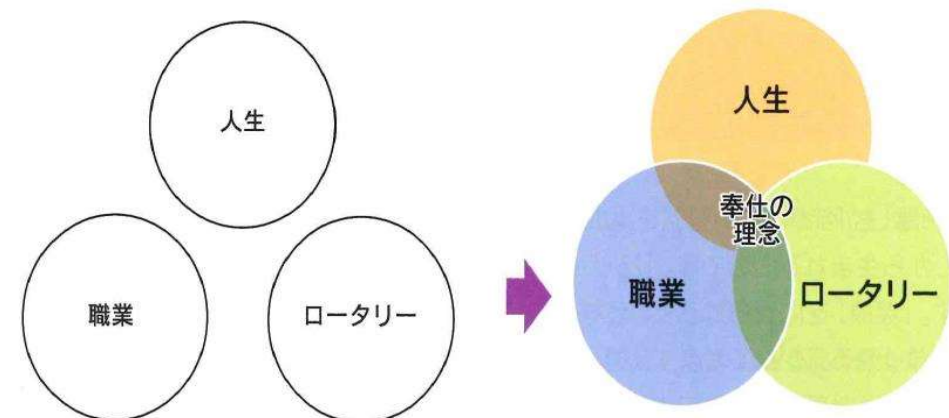
人生の魅力・職業の魅力・ロータリーの魅力

- * 小林正観氏の「魅力的な人々の共通項」の著書の中で、「魅力的な人になることは、人に喜びを与える人になること」、即ち、**思いやりを持って喜びを与える優しい人**になることを意味しています。人生、職業、ロータリーの真の目的は、「**人に喜びを与えること**」であり、まさに、「**奉仕の理念**」はその根幹であり、人生、職業、ロータリーは決してそれぞれ分離するのではなく不即不離である。従って、魅力あるクラブとは人に喜びを与えるクラブと見做される

ポール・ハリス語録

“ロータリーの道は、最も明るく魅力的な人間の目標、すなわち人類の友愛に通じています”

奉仕の理念と人生・職業・ロータリーの関係図



ロータリアン・家族の健康維持

ロータリーの「**奉仕の理念**」の実践には、ロータリーの魅力「**人に喜びを与える**」
行動と共に、**健康の維持**が不可欠である

1) 新型コロナ感染拡大予防の取り組み

- * ロータリアン・家族・クラブによる感染拡大抑止ための取り組み
- * クラブによるワクチン接種推進を支援するための5つの行動(My Rotary参照)

2) 地区がん予防推進事業の推進

コロナ禍で毎日2,700名ががんに罹患。今後、進行したがん患者の増加

- * がん予防“新21カ条”の堅持
- * がんの一次予防・二次予防の遂行

我が国では、2人に1人がんに罹患、4人に1人がんで死亡



共存共栄の理念

ロータリーとがんには、「共存共栄」という共通の理念がある

*「ロータリーとかけて、共存共栄と解く—その心は、利己と利他との調和」

第2710地区2008-09年度ガバナー 諏訪昭登

*「がんとかけて、共存共栄と解く—その心は、長い自然史と予防の調和」

第2710地区2016-17年度ガバナー 田原栄一

がんは臨床的に見つかるまでに、10-20年の長い自然史があり、それには、青少年時代の喫煙を含む生活習慣が関与、それを改善することよりがんを予防することができること(一次予防)、がんを早期に見つければ、がんは完治できること(二次予防)、そして、進行がんでもがん治療により、がんと共存して生活できること(三次予防)

サム・レヴェンソンの名言

アメリカの作家、サム・レヴェンソン(1911-1980) 詩集

「時の試練をへた人生の知恵」より

「助けが必要なとき、いつもあなたの手の少し先に助けてくれる手が
さしのべるいることを、忘れないでください。

年をとると、人は自分に二つの手があることに気づきます。

一つの手は、自分自身を助けるために、もう一つは手は、他者を助けるために」

Remember, if you ever need a helping hand,

You`ll find one at the end of your arm

As you grow older you will discover that you have two hands.

One for helping yourself, the other for helping others.

-Sam Levinson

